会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和元年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」Ⅰ．教職員の資質能力向上の推進　（ⅱ）教職員研修プログラムの構築事業 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第5回ICT活用研修WG |
| 開催日時 | 令和元年11月8日（金）　14：00〜16：00 |
| 場所 | エッサム神田ホール7階中会議場701東京都千代田区神田鍛冶町３丁目２−２ |
| 出席者 | 委　　員：山根大助（学校法人京都中央学院）、岡村慎一（学校法人YIC学院）、岩切直子（学校法人麻生塾）、猪俣昇（株式会社ウイネット）、合田美子（熊本大学）、加藤猛（学校法人穴吹学園）請負業者：飯塚正成（有限会社ザ・ライスマウンド） |
| 議題等 | 1. 今後の会議および成果物の進捗に関するスケジュール確認

役割分担と現在の進捗状況および今後の確認を行った1. 提出書類の確認とまとめ方について

「ICT活用研修」および「「ICT活用研修」担当教師育成研修」それぞれの成果物（カリキュラム、教材、教具など）のまとめ方に対する意見交換を行い、フォーマットを確認した。また、これまでに実施した実証研修に関する実績報告書、仕様書について確認を行った。1. 「「ICT活用研修」担当教員育成研修」に関する意見交換

令和元年11月7日〜8日に実施した実証研修について、カリキュラムやシラバス、研修の運営について、出席委員から積極的に意見交換がなされた。主な内容は次の通り* 研修内容については問題がないことを確認した
* 研修に参加できる対象者の必須要件について

ICT活用研修への参加経験の有無について* 事前課題に対する指示内容について

参加者からも意見として提出された、資料や指示文書について内容を確認し、改善策を検討した。* 講座運営の際に必要となる講師のリードの方向

研修内のワークグループで行った、「コメント」について、研修参加者の経験に偏りがちであったことから、参考テキストなどを有効に活用し、視野を広げられるように誘導することを確認* 「ICT活用研修」の主眼が技術指導ではなく、インストラクショナルデザインの観点にたっていることの利点について再確認した。
* 講座運営に際し、日々開発されるあたらしいツール（グーグルスプレッドシートやYouTubeのリンク機能など）を利用したことによる参加教員の気づきなど副次的なメリットを確認し、研修の中でどのように紹介活用するかについて意見交換
* 研修の目的が「講師になる」ことであることにより生まれた研修参加者の「意識、気づき」について確認した
 |

以上